

# 夜間学校 ニュース

1988年9月30日

西成区萩之茶屋2-8-9

旅路の里気付

釜ヶ崎夜間学校

在日朝鮮人・韓国人・中国人の

指紋押なつ拒否断固支持!

定住外国人に市民権を!

エンマ大王

「ヒロヒトはいづー、」

「ヒロヒトはまだか……」

赤鬼

「ハハア、」

「いまだム参上」

「つかまつりませぬ……」

天皇ヒロヒトの病状が気づかれ、医者が手をつくして延命をはかっていることが報じられていいる最中、野宿を余儀なくさせている仲間へのわずかばかりの福祉が、笑いも

(うつへ)

今晚の夜間学校は  
釜日労主催の

『釜ヶ崎と

天皇Xデー集会』に

合流します。

市民館で...

ケツから血をタレ流しながら  
人の生血を吸って  
生き続ける  
天皇の  
死ぬ日は...

毎週金曜日  
夜七時より  
市民館三階

釜ヶ崎夜間学校

みんなで作ろう

みんなの 会館

三人よれば 何とかの 知恵

浮浪者に金出し  
日本は長寿国に  
ミッチー放言  
自民党の政経文化パーティ  
ーが二十三日、徳島市で開か  
れ、あいさつに立った渡辺美  
智雄政調会長は、国の財政状

況を説明する中で、「日本が  
長寿社会になったのは国民皆  
保険制度のおかげ。無一文に  
は国が七割も金を出して救っ  
てやっているからだ」などと  
切り出し、「上野駅あたりに  
は浮浪者がたくさんいるが、  
彼らが交通事故に遭えば、タ

タで治して、小遣いまでやっ  
て「またどうぞ。こじきさん  
やってちょうだい」と、こん  
な格好になっている。だから  
長生きするんだ。皆さん、ば  
く大な金がかかっているんだ」  
などと述べた。

加者は、ほとんどが「身内」  
とあって爆笑に包まれたが、  
社会的弱者の神経を逆なです  
るような放言に、中にはまゆ  
をひそめる人もいた。

1988年9月24日  
毎日新聞朝刊

仲間の死  
本籍自稱高知県中村市中  
村町681番地、住居西成区津  
中1-18-17鳴門荘1階6  
号室、氏名西村重壽、75歳  
の男、遺留金品現金68,450円、  
郵便貯金通帳、国民年金  
証書、定額郵便貯金証書、  
印鑑、医療受給者証、日雇  
特別被保険者受給票  
右の者は、昭和60年7月  
12日午後4時ごろ、大阪市  
西成区津守1-18-17鳴門  
荘にて発見されたもので、  
同月10日ごろ同所において  
栄養失調症にて死亡したも  
のと思われる。

のにされていることが報いられた。

人の生命に軽重はなく、誰しもが同じ扱いをうけるのが、民主社会の理想であるはずなのに、この落差はどうしたものだ。

ヒロヒトのためには、選ばれた八人の生き血が準備され、それをすすることによって、ヒロヒトはかろうじて生きている。

野宿を余儀なくされる仲間が救急車で運ばれても、おざなりな治療しかされない。いや、救急車で運ばれ、医者にみてもさうことなく死んでいく仲間も多い。そして、かたちはかりの病に気づかぬことすら、貧しいのタネとされる。

これは、差別を端的にあらわすものである。

まさに、貴族あれば、賤族ありだ。

天皇がたてまつらぬばたてまつらぬだけ、我々日雇いの野宿を余儀なくされる仲間への差別は強化される。

しかも、もつと許せないことに、ヒロヒトは戦争をはじめた責任者の一人であることは、否定のしようのない事実であるにも関わらず、その責任を充分に問われ、さばかれることも、謝罪することもなく死のうとし

ているのに、そのことが死によって免罪され、ヒロヒトの美化が強まっていることである。

自民党の渡辺政調会長によつてモノ笑いのタネとされた野宿を余儀なくされている仲間の中には戦争に行った人も多い。また、戦争のドサクサで教育をうけることができなかった人も多い。東美須の高速入口近くで野宿

をしていた七一オの仲間は、徴兵

兵、召集の連続で、私たちの二のオオの時々は、今のワウリーマ

このような生活はない、軍隊だ

けだつたらと語った。

四天王寺境内で青カニして

た七十オの仲間は、二二オで軍隊に行き、敗戦で帰ってきたら

女房、子供は空襲で死んでいた

という。

日本橋で青カニをしていた仲間は、輸送船団に所属、敗戦後

岡坂に行ったが、合理化でクビを切られ、釜に来たという。

六三オ、台湾生まれの仲間は、鉄鋼所の研究室に勤めていたが

軍隊にとられ、敗戦後、クツミ

が、無理やり行っている。治療

で近命がはからぬ、その死が

くの人の悲しみという色アイで

カザらぬようとして、一方では

その戦争にまきこまれ、戦地で

苦悶した人々が、口々に医者に

もめてもらえず、福祉の対象か

らも除外されたかたちで、日々

寒さを加える露天下での野宿を強

いらぬ、死におかわりされている。

ヒロヒトも人間である。その

限りにおりては、その死について、何もいうことはない。しかし、ヒロヒトは天皇である。ただの人間となることもできず、ただの人間もかわらず、天皇として存在続けたのである。ヒロヒトの上には、今、青カニを強いらぬ、野垂れ死んでいく仲間の呪いが置かれるべきである。その呪いは、天皇の位をつぐものにも、相続せしめるものだ。